

沖田ダムの洪水調節による治水効果(沖田川水系沖田川)

R6年
10月豪雨

※速報値のため数値が変更となる場合があります

位置図



流域図

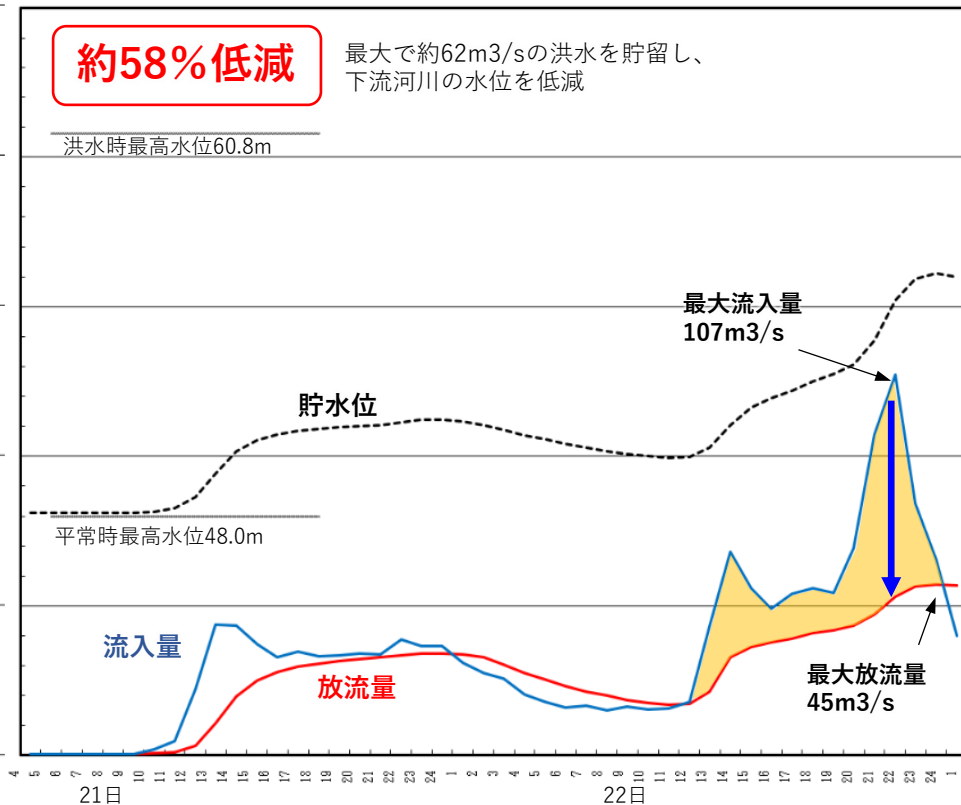


- 低気圧の影響により、沖田ダム上流域において559mm（10月21日03時～10月23日03時）の総雨量を観測。（令和4年台風第14号：338mm）
- 洪水調節容量225万m³を活用して洪水を貯留し、洪水時に最大でダムからの放流量を約58%低減。
- これにより、ダム下流約4 kmの口広橋地点において約97cmの水位低減効果を発揮し、氾濫危険水位の超過を回避したと推定される。

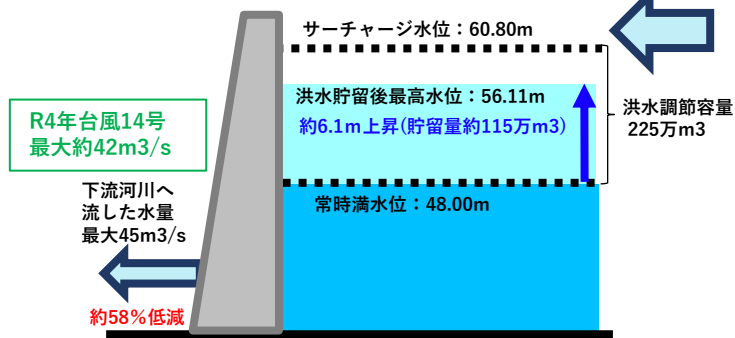
沖田ダムによる洪水調節

約58%低減

最大で約62m³/sの洪水を貯留し、下流河川の水位を低減



沖田ダムの状況



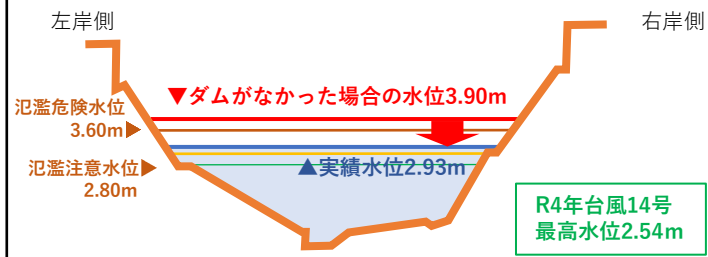
R4年台風14号
最大約72m³/s

ダムに流れてきた水量
最大約107m³/s

R4年台風14号
最大約42m³/s

下流河川へ
流した水量
最大45m³/s

水位低減効果(口広橋地点)



広渡ダムの洪水調節による治水効果(広渡川水系広渡川)

※速報値のため数値が変更となる場合があります

流域図 広渡ダム

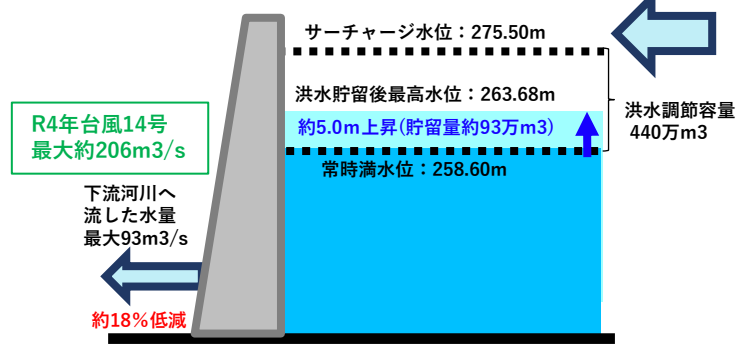


位置図



- 低気圧の影響により、広渡ダム上流域において381mm（10月21日05時～10月22日20時）の総雨量を観測。（令和4年台風第14号：577mm）
- 洪水調節容量440万m³を活用して洪水を貯留し、洪水時に最大でダムからの放流量を約18%低減。
- これにより、ダム下流約16kmの谷之城橋地点において約6cmの水位低減効果を発揮したと推定される。

広渡ダムの状況



水位低減効果(谷之城橋地点)



広渡ダムによる洪水調節

